

とのさま き

# 殿様の木 サイカチ

南部藩では、代官のことを目代という。なぜ、この目代館に殿様の木といわれるサイカチの木が虎口(入口)のそばにあったのかは、謎である



目代館縄張り推定図

## サイカチ 阜茨

- 1 マメ科:アカシアに近い
- 2 生息地:東北から九州地方。山野・川原に自生または栽培されている落葉高木。
- 3 形態:樹高約10m～20m。枝が変形シトゲが多い。花は初夏、豆果は長さ30cmくらいでねじれる。
- 4 成分:さやと種子に自然流石鹼の成分グレジチアサポニンを含む。
- 5 利用法
  - (1) 漢方薬利用。リュウマチ等。
  - (2) 煮だして、揉んで泡立てて石鹼として利用。
- 6 戦国ロマン  
葛西一族の目印の木

## 目代館のサイカチ

館の崖の所に若木があった。現在は、見つけることができない。

- 1 昔、目代館にサイカチの大木があった。殿様の木といわれていた。(目代さんからの聞き取り)
- 2 昔、この館に女郎屋があり、サイカチの実を石鹼代わりに使っていた。(民俗資料調査報告書より)
- 3 天正18年(1590年)豊臣秀吉による「奥州仕置き」により、葛西一族は破れ、農民として姿を隠した。その後、葛西家遺臣らは、門前にサイカチの木を植え、同志の目印とした。「カサイカツ」を合言葉に再起を誓った。
- 4 サイガジバラ:棘があるからバラを付けたもの。地域:津軽
- 5 さがつ:さがじ・せえがじ等も。地域:南部 (県史 自然編より)



目代館遠景



サイカチのさやと種